

いけんちんじゅつようし
意見陳述要旨

ねん がつ にち
2020年3月17日

げんこく きた さぶろう かめい
原告 北 三郎 (仮名)

わたし ねんかんゆうせいひがいしゃ くる かな
私は62年間優生被害者として苦しみ悲しみをのりこえてきました。
くる しあわ きず おも けっこん
苦しみをのりこえ 幸せを築こうと思い、結婚だけはするつもりはありませんで
したが、けっこん くる しあわ じんせい
したが、結婚をしたばかりに苦しみだけがおそいかかって 幸せな人生ではあり
ませんでした。つま さき い
妻にも先だたれ、生きるのぞみもなくなってしまう、どうすること
もできません。ゆうせいしゅじゅつ う ほか ひと まご
優生手術を受けていなかったら他の人とおなじように、孫に
しあわ かてい きず おも
もかこまれて 幸せな家庭を築けていたのだらうと思います。

おや わたし からだ おや
親が私の体にこんなむごいやりかたをしたのだと親をうらんできました。そ
のため いちど おや はかまい さいばん お あと ねえ おや
のため一度も親の墓参りをしてきませんでした。裁判を起こした後、姉さんと親
はかまい いっしょ ねえ おや わたし からだ こ
の墓参りを一緒にしたとき、姉さんから、親が私の体に子どもをもつことがで
きないようにしたのではない、親が私をにくくて手術をしたのではないと教
えてもらいました。おや くに
親をうらんできたのは誤解だったと思い、国がなぜこんな
しゅじゅつ おも
手術をしたのか、と思うようになりました。

ほんにん じゅう くに い わ
うむ、うまないは本人の自由なのに、なぜ国がメスを入れるのか分かりません。
ほうりつ ふりよう しそん しゅつせい ふせ しゅじゅつ か
法律には、不良な子孫の出生を防ぐために手術をすると書いてあります。
しゅじゅつ う ひと ゆめ きぼう くる い
手術を受けた人は、夢も希望もなくなり、ただ苦しんで生きていかなければな
らなくなります。ひと じんせい ほうりつ つく
その人の人生をかんがえれば、このような法律は作らないので
はないかと思ひます。

しょうがい ひと こ ほう くに ふたん おも ひと
障害のある人や、子どもがうまれてこない方がいい、国の負担だと思ひ人をね
らって、くに い まちが おも
らって、国がメスを入れることは間違ったことだと思ひます。
くや きもち
とても悔しい気持ちです。

こんなに大勢おおぜいの人ひとたちが応援おうえんしてくださって、本当ほんとうに心強こころづよいです。

最近さいきん手話しゅわをはじめました。

裁判さいばんや集会しゅうかいに、毎回まいかい手話しゅわの先生せんせいたちが来きてくださっています。

聞きこえない人ひとたちに少しすこでも話はなしができればと思おもい、地域ちいきの手話しゅわサークルかよに通かよい始めはじめました。

支ささえられながら続つづけてこられた裁判さいばんです。いよいよ判決はんけつです。

大勢おおぜいの人ひとが苦くるんでいることことに対してたい、裁判官さいばんかんが少しすこでも私わたしたちの味方みかたになっなてくれればおもいいなと思おもっています。

どうか正義せいぎと公平こうへいな判断はんだんを願ねがいします。

いじょう
以上